



安全や経費面で貴重な意見

JR芦屋駅再開発をテーマに市議会報告会

5月21日ウェブで

夏本番の季節になりました。みなさま、コロナ感染対策と同時に熱中症対策もしっかり行ってください。さて5月21日には、「JR芦屋駅南地区再開発事業」をテーマに、芦屋市議会報告会を初めてオンライン形式で取り組みました。

はじめに市議会の方から再開発事業の概要や議会で審議してきた経過を説明したのち、市民参加31人、議員20人が5つのルームに分かれて審議を深めました。交通課題やペDESTリアンデッキについて、また事業縮小や費用についてなど、市民の方から率直な質問や

JR芦屋駅で議会報告



意見が出されました。私が参加したルームでは、「経費を削減して無電柱化を取りやめているが、今後改めてやるとなったら莫大な費用が発生する。この時期にはないか」「ペDESTリ

報告会で市民の方からいただいた意見（抜粋）

- 交通課題の解決にはきちんと費用をかけてやってほしい。
- 地価や資材の上昇などによる事業費増が考えられるが、市が努力して縮減ができる所とそうでない所を区分して議論するべきではないか。
- エスカレーターの下りが削減されているが、高齢者等には下りの階段は危険だと思う。
- 駅前の良い場所なので、公共施設は有効に使ってほしい。
- 芦屋の広報的な観光案内のような施設や、子育て世代対象の託児施設、図書館など多くの市民が利用できる施設を求める。

アンデッキも縮小されているが、イベント時など人が集まるときの安全面は大丈夫なのか」など意見が出されました。

山口みさえからは、できる限りの経費削減と合わせて先を見越した街づくりが大切といってきた立場として、行事や有事の際の安全確保や将来人口予測も改めて議会や特別委員会で確認しながら、事業の進捗をしっかりと見ていきたいとお応えしました。今回の事業縮減案では、エスカレーターも上りだけで下りは設置されません。高齢化が進む中、市には将来的な財政状況を考慮しつつ、更なる利便性の向上の検討と不断の努力をと訴えています。

芦屋市議会議員

山口 みさえ

6月議会報告

コロナ関連予算の使い方を審議

市民の暮らしや、学校現場、各事業所の実態に即した迅速な支援事業が展開できるような、優先順位や事業内容の点検、市独自施策の提案を全力で訴えています。

各福祉事業所に 抗原検査キット支給

抗原検査（定性）キットが通所系の各サービス事業所（介護保険サビ



議会で発言する山口みさえ

ス、障がい福祉サービス、障がい児通所支援）に支給されます。

これまで通所サービスに関してには県からの補助がなく、事業所が自費負担していました。今回の補正予算で市の方がキットを用意してクラスター防止や事業所が再開しやすい環境を支援します。山口みさえは、市にキットを支給するだけでなく、使い方の指導もお願いしました。

感染対策マニュアルは 見やすくし、広く共有を

教育委員会は2020年5月に「学校園における新型コロナウイルス感染症対策ポイントマニュアル」を作成し、2年間で25回の改訂を加え公表しています。

ただ毎回改訂力所が示されていないので、誰が見てもすぐにわかるよう改善していただきました。今年5月にマスク着用についての改訂（常時から基本に変更）がありました。教育委員会だけで理解を深めるのではなく、児童・生徒、教師、

保護者それぞれの立場で理解・共有することが大切です。

コロナに加え物価高 具体的な生活支援を

市民の方や、自営業の方の話を日々お聞きして活かしています。食品や公共料金などの値が大変です。このまま商売が続いていけるかどうか、日々不安を抱えています。

市民も自営業の方も、全てを支援できる事業として、以前にも実施した水道料金の徴収をしない

よう（期間限定で無料化）最終本会議で訴えました。

給食費高騰分を
来年3月まで市が補助

物価が上昇している中、公立小・中学校の給食費の物価価格相当額（416万5千円）を保護者に負担させずに、国からの臨時交付金が下りてくるまでの間は、市が補助をします。期間は7月から来年の3月まで。

本来楽しいはずの給食が黙食によって、なかなか楽しい時間になり得ない中、せめて栄養価の高いおいしいものを提供したいと、学校の給食現場では調理師、栄養士ともに奮闘していただき感謝です。現在不登校児童が大変増えており、食事はしっかりとれているのが心配です。

なぜ学級を増設しない？

級とも規則で定められている45人を超えています。

山口みさえは議会で2

の改善を求め続けているのに、今回も補正予算が組まれてないことには納

4月以降同学級は受け入れ児童がさらに増えます。事故やケガがあっ

定数超える「ひまわり学級」

6月の補正予算で、放課後児童クラブ「すぎの子学級（岩園小学校内）」を増設するため918万2千円が可決されました。

児童数が増加したため学級を増やすことに何ら異論はありません。ただ私が問題として取り上げたのは、この2年間児童数が超過して学級増設を必要としている精道小学

校内「ひまわり学級」についてです。

児童クラブは規則で児童定数が定められていますが、現在多くの学級が定数を超えて受け入れていますが、それは国が実際の登級率で定数を超えなければよいとしたためです。「すぎの子学級」の登級率は46・8人「ひまわり学級」は45・2人、両学



定数を超えても増設されない「ひまわり学級」

年間、「ひまわり学級」得がいきません。しかもてからでは遅すぎます。

石綿被害者の救済 芦屋市も国に働きかけを

2006年にできた石綿健康被害救済法は、アスベストを使用していた事業所や工場で働く人だけではなく、周辺住民や家族にまで被害がおよんだことを受け、国の責任において救済することを目的につくられました。

法制定から15年が経過し、社会情勢も変わり患者家族の方たちは、労災補償との格差是正を求め救済から補償へと3つの緊急要望に取り組んでいます。

被害者の実態を受け止め、芦屋市も他市と連携し国に要望書を提出するよう求めました。

少人数学級求める請願に賛成

委員会で教員不足の実態も訴える

教職員組合から、少人数学級推進と義務教育の国庫負担率引き上げを求める請願が提出されました。

子どもたちに豊かな教

育を保障したいが、現実には貧困、不登校など解決すべき問題が山積しているうえに、コロナ禍で新たな業務も増え現場は疲弊しています。山口みさ



実態を委員会審議で精いっぱい訴えました。

えも、教員の方たちの思いを受け、加配教員不足の

来年10月から

指定ごみ袋導入

来年10月1日より芦屋市に指定ごみ袋制度が導入されます。目的はごみ

の減量化等を推進するため。

ごみステーションまたパイプラインに燃やすごみと燃やさないごみ（紙資源、ペットボトル、缶ビン以外の物）を捨てる

ときに、市指定のごみ袋で出して、違反しているごみがあれば収集はしてもらえません（パイプラインも投入口下で違反が見つかれば投入口横にごみ袋は戻されます）。

西蔵と茶屋集会所で「みさえ広場」が市政報告会

3月議会 子どもの環境整備に尽力

山口みさえ後援会「みさえ広場」は、4月24日（西蔵集会所）、29日（茶屋集会所）で「市政報告会」を行いました。両日ともあいにく雨模様でしたが、多くの支援者に参加いただき、貴重なご意見をいただきました。



西蔵集会所の様子

報告会では、山口みさえが3月議会の内容を報告。放課後児童クラブや適応教室など、子どもの政策を取り上げ発言したことを説明しました。

参加者からは報告に対する質問や、ロシアのウクライナ侵攻など、幅広い意見が出されました。

「みさえ広場」では、山口みさえの活動や市政について、アンケートを実施しました。多くの方にご協力いただきありがとうございました。特徴的な意見をご紹介します。通信については、「議

アンケートへの協力
ありがとうございます

「生活に密着した内容を取り上げてもらっているのがあるがありがたい」等のご意見をいただきました。芦屋市政について関心のあることについては、「教育」「福祉」が多く、現状に不満を持たれていることもよくわかりました。

いただいたご意見につきまして、今後の議会活動にいかし、市民が大切にされる市政をめざし、これからも頑張っていきたいと考えています。

無責任な議員辞職

大塚市議 虚偽発言の議事録修正せず

大塚のぶお議員が、5月31日に一身上の都合により議員辞職しました。辞める数日前には、この間自らが取り上げてきた

議員のパワハラ問題で、虚偽発言したことを反省し、市民にも説明責任を果たすと言っていました。が、その議事録の訂正や

修正をしないまま大塚さんは議員辞職をしました。このことも無責任極まりないと思いますが、一身上の都合で辞職届を出しに来たとき、そのことを質すことなく議長が辞職を許可してしまったことも残念です。

みさえの ひとり言

3年ぶりに地域のフェスタが開催された。コロナ禍でことごとく行事が中止や延期されてきたが、冬場の爆発的な感染拡大から少し状況も落ち着いてきたところで、開催時間を大幅に削減し、内容も工夫して、感染対策もしっかり行なったうえで開催することができた。家に閉じこもりがちの高齢者の人に、フェスタで思いっきり楽しんでもらえるようにと準備を進めた。90歳を迎えた方の民謡1人舞台や、60歳を超えた人たちの青春時代のバンド演奏、時代劇風寸劇などあつという間に時間が過ぎた。みんなの笑顔を見ると老若男女が集まることの大切さを改めて感じる。今回集まれなかった方たちも次回はずいぶん加わりますように。